

退教互会報

一般財団法人 岩手県退職教職員互助会

〒020-0022 盛岡市大通一丁目1-16岩手教育会館4階 ☎019(623)3300(代) ホームページ: <http://iwatetai.starfree.jp/>
発行・編集責任者 川村 元



〈立山黒部アルペンルートの最高地点「室堂平」にて〉

目次

2割負担配慮措置まもなく終了 退教互に与える影響は？	2
70歳以上の皆様へ	3
地区連絡会／各地区会長事務局長一覧	4
地区活動報告（二戸地区）	5
公益文化事業／囲碁大会	6
おくやみ欄	7
満100歳を迎えられた方々／住所・電話番号を ご変更の際は必ずご連絡を！／あとがき	8

思い出の“フォト”

●退教互企画旅行●

「立山黒部アルペンルートと黒部峡谷トロッコ列車の旅」
(2025. 7. 9～11 23名参加)

立山黒部アルペンルートは、標高3000m級の山々が連なり北アルプスを貫く世界でも有数の山岳観光ルートです。

季節は7月…新緑眩しい景色のなか、3日間通して好天に恵まれまたものの、立山黒部アルペンルートの最高地点「室堂平2450m」（集合写真）では、立山（雄山）に霧がかかってしまいました。それでも澄んだ湖面が美しい「みくりが池」や、観光放水中の「黒部ダム」えん堤散策など日本一の山岳観光ルートで壮大な大自然の魅力に触れ、「黒部峡谷トロッコ電車」では峡谷の絶景を間近に楽しみ、創建約1400年の歴史を持つ「善光寺」へも参拝され、皆さん元気に旅を満喫されました。

後期高齢者2割負担の配慮措置まもなく終了… 退教互に与える影響は？

退教互の医療機関への
支払いが増える？!



2022年10月1日より後期高齢者医療に「2割負担」が新たに導入されました。それにより2割負担になる方の医療費負担が大きくなることから2022年10月から2025年9月までの間、外来診療の一部負担金について「配慮措置」が設けられました。

この配慮措置は、外来受診の医療費が1ヶ月当たり「合計点数×2割」の負担になるところを、合計点数3,000点以上になる場合「合計点数+3,000円」までに抑える制度です。

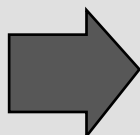
2025年10月からは配慮措置が終了し、今後、医療費の費負担は増えることとなります。下記をご参照ください。

例

2025年9月まで
1医療機関（外来1ヶ月分）
8,500点の場合

8,500 + 3,000（配慮措置）

11,500円



2025年10月から
1医療機関（外来1ヶ月分）
8,500点の場合

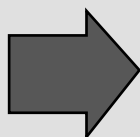
8,500 × 2割分

17,000円

※『現行の控除額(受診者負担額)』2割負担の方で1ヶ月の控除額2,000円

2025年9月まで
1医療機関（外来1ヶ月分）

医療費	11,500円
会員控除額	2,000円
退教互支払額	9,500円



2025年10月から
1医療機関（外来1ヶ月分）

医療費	17,000円
会員控除額	2,000円
退教互支払額	15,000円

上記の例の場合、退教互支払額は5,500円増!!

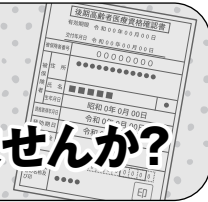
昨年度の医療機関への支払データから算出したところ、年間で約3,000万円ほどの医療費負担増が見込まれる予定となっております。

以上のように、医療制度の改革は退教互に大きな影響を与えています。

このことから、今後の医療費負担増を踏まえ、組織財政検討委員会においても、将来を見据えた給付制度の維持・確立に向け議論・検討を行っていく方向であります。

70歳以上の皆様へ

8月から資格確認書等の負担割合が変わっていませんか？



一部負担金の割合が変わった方は、新しい資格確認書等のコピーをご送付ください！

岩手県国保（市町村国保）及び後期高齢者医療にご加入の方々は、毎年8月に健康保険の更新が行われます。新しい「資格確認書」等に記載されている「一部負担金の割合」が、更新前と変わりないか、今一度ご確認をお願いします。

「一部負担金の割合」が更新前と変わった方は、退教互へのお届け（コピーの提出）が必要です。まだ退教互へコピーを送っていない方は、早急にご送付をお願いします。

（FAX送信可 019-623-3349）

70歳～74歳の方は資格確認書、資格情報のお知らせのいずれかが交付されます！

マイナ保険証に紐づけしている方には「資格情報のお知らせ」が交付され、紐づけしていない方には「資格確認書」が交付されますので、どちらかのコピーをご送付ください。

一部負担金の割合が変わった方は診療報酬請求書への記入の仕方が変わります。

※加入健康保険等の区分の○で囲む欄は次のようになります。

70歳～74歳の方で
資格確認書または資格情報の
お知らせの一部負担金の割合が
2割の方は → **352** に○
3割の方は → **353** に○

後期高齢者医療資格確認書の
一部負担金の割合が
1割の方は → **401** に○
2割の方は → **402** に○
3割の方は → **403** に○

退教互会員証（黄色）をお持ちの方へ 会員証のご提示はされていますか？



最近、退教互会員証（黄色）を医療機関の窓口へご提示されずに受診される方が多くいらっしゃいます。（会員証を提示されないと窓口で医療費の支払いが生じます）

原則として窓口では「会員証」をご提示いただくことになっております。受診の際には必ずご提示くださいますようお願いいたします。

※各種共済組合加入・県外在中の方々は窓口での支払いをお願いします。

2025年度地区連絡会

本年度の地区連絡会は、6月5日から7月2日にかけて開催し、総勢1,093名の会員の皆様にご出席いただきました。

毎年、地区連絡会では、退教互の事業決算報告及び受診要領などを説明しております。

出席された会員の方々からは、健康保険証に関わる事項や療養費の支出が増えている現状と今後の運営の見通し、病院等の受診要領の再確認、歯科受診の際の請求手数料についてなど、さまざまなご質問やご意見をいただきました。

皆様からいただきましたご意見は、今後、検討を進め、さらなる退教互維持・発展のために生かしていきたいと思っております。



東京地区連絡会 集合写真
皆さん笑顔が素敵です。



仙台地区連絡会 集合写真
和やかな雰囲気が伝わります。

2025年度各地区会長・事務局長一覧

地区名	会長名	事務局長名	地区名	会長名	事務局長名
盛岡	佐藤 均	高野 泉	気仙	三浦 昌弘	田村 敏彦
岩手	目黒 泰	山本 顯	釜石	河東 眞澄	菅井 綾人
紫波	山本 好章	千葉 功一	遠野	昆 弘盛	湊 惠幸
稗貫	藤田 俊男	菊池 善明	宮古	大久保 茂	坂下 正典
和賀	浅野 博道	千葉 正	下北	中村 邦子	菊地 ミツ子
胆沢	高橋 俊一	及川 茂行	九戸	大井 正信	佐々木 裕毅
江刺	及川 功一	及川 智	二戸	上森 一男	久慈 喜一
西磐井	加藤 正好	千葉 茂樹	東京	豊巻 浩也	小田島 洋子
東磐井	佐藤 良	小野寺 廣	仙台	大山 清吉	小川 総一郎

※今年度の評議員・理事・監事の一覧については、地区連絡会資料（退職会員向け）、退教互の現況（現職会員向け）に掲載しております。

二戸地区活動報告

新型コロナが終息した2023年度から、ようやく本来の二戸地区の活動が行われるようになりました。

春の研修旅行（観桜会）は、弘前公園、北上展勝地、角館の三か所を順繰りに回る形で行っていましたが、今年は4月7日に北上展勝地を目的地として行いました。

参加者は22名、開花状況が5分から8分咲きと、満開にはほど遠かったものの天候にも恵まれ晴れた青空の下での桜見物は気持ちのいいものでした。



研修旅行・北上展勝地にて

さらに、観光馬車やケーナの演奏が雰囲気を盛り上げてくれました。

その後、ワインシャトー大迫の見学や新しくなった石鳥谷の道の駅での買い物も楽しみ参加者は春の研修旅行を満喫しました。

6月19日には、昨年から復活した地区連絡会が開催され、67名の出席がありました。久しぶりに顔を合わせた会員同士の話に花が咲き、退教互本部の事業報告や学生協、旅行会社の説明後閉会し、出席者は地区会で用意したお弁当やお茶、ワンカップを受け取り散会しました。



二戸地区連絡会風景

9月以降の活動として昨年度の内容を紹介すると、一つはパークゴルフ交流会を9月26日に軽米のハートフルパークゴルフ場で行いました。参加者は女性5名を含む17名の参加があり、初心者からベテランまで秋空のもと、和気あいあいとプレーを楽しみました。

もう一つは、二戸市の地域おこし協力隊のピアニスト猿楽さんの演奏会を行いました。猿楽さんは、二戸市内の風景や史跡などをテーマに作曲されている方です。例年は秋にも研修旅行を行っていたのですが、参加者が少なく中止になることもあったため、猿楽さんの演奏会はその研修旅行に代わる事業として行い、女性会員同士の呼びかけもあったことから、50名を超える参加者があり大変盛り上がりました。音楽家の感性でひとつの街を音楽で描く猿楽さんの楽曲はすばらしく参加者はその演奏を楽しみました。



2025 公益文化事業



第54回岩手教育芸術祭美術展

期 間 11月8日(土)～11日(火) 9：00～17：00(最終日は15：00)
場 所 岩手教育会館 特設会場 (盛岡市大通一丁目1-16)

……美術展作品募集要項……

- 絵 画 (日本画・洋画・版画・水墨画) 50号以内 額装 (1人1点)
 - デザイン 全紙以内 パネル (1人1点)
 - 彫刻・立体 150cm×100cm×100cm以内 重さ50kg以内 (1人1点)
 - 工 芸 150cm×130cm×50cm以内 重さ50kg以内 (1人1点)
 - 現代美術 120cm×120cm×50cm以内 重さ20kg以内 (1人1点)
 - 書道一部 本紙242mm×61cm以内 (縦作品)
本紙180cm×70cm以内 (縦・横自由)
 - 二部 本紙136cm×35cm以内 (縦・横自由)
一部、二部とも額装または軸装。ただし軸装の場合、縦の長さ240cm以内とする。
二部は半切以下の半紙や色紙等の小品も可とする。(一部、二部それぞれ1人1点まで)
 - 写 真 四ツ切以上大全紙
(額装またはパネル68cm×57.5cm) まで。
組写真不可。デジタル作品は加工不可とする。(1人2点以内)
- ☆いずれも未発表の作品に限る。規格外の作品は審査対象外とする。
☆出品料 無料 ☆応募〆切 10月24日(金)
☆詳細は、下記事務局へ作品募集要項を請求のこと。

岩手教育芸術祭事務局 ☎019-623-3301へ

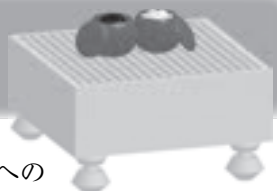
■いしがきミュージックフェスティバル

日 時 9月28日(日)開演10：00～19：00
会 場 盛岡城跡公園・盛岡フェザンステージ
クロステラスステージほか全9会場
入場料 無料 (盛岡城跡公園のみ有料)

■コーラスネットワークいわてコンサート

日 時 11月1日(土)開演13：30
会 場 岩手教育会館 多目的ホール
入場料 500円 (高校生以下無料)
出 演 岩手県内コーラスグループ
コーラスネットワークいわて加盟団体

全国教職員囲碁大会岩手県大会



第43回全国教職員囲碁大会 (来年1月6日、東京・日本棋院会館にて開催) への
出場権をかけた岩手県大会を、今年10月29日(水)に岩手教育会館で開催します。

この岩手県大会の参加資格は、地区大会で選抜された方、又は地区会から推薦を受けた方となります。
地区大会については、各地区事務局へお問い合わせください。

競技種目＝・名人戦 (5段～6段)・段位戦 (初段～4段)・級位戦

■おくりやみ申し上げます<敬称略>

会報101号掲載以降の方々です。退教互から香奠を給付し、ご冥福をお祈り致しました。

【盛岡地区】			
阿部みどり	2024年	9月1日	84歳
小坂由紀		12月18日	62歳
原光允	2025年	1月12日	86歳
馬光レ		1月21日	89歳
相原レ		1月27日	92歳
工藤新		2月8日	92歳
渡新		2月12日	94歳
千伊		2月12日	83歳
清藤		2月15日	82歳
水原		2月16日	89歳
橋久		2月21日	90歳
高久		3月6日	95歳
對子		3月9日	92歳
小野子		3月11日	86歳
中野子		3月20日	83歳
藤子		3月22日	93歳
八幡		3月28日	85歳
佐村		3月31日	89歳
小野		4月4日	90歳
藤井		4月6日	80歳
原村		4月9日	71歳
吉田		4月12日	90歳
吉田		4月21日	86歳
吉田		4月24日	90歳
吉田		5月1日	90歳
吉田		5月6日	98歳
吉田		5月12日	90歳
吉田		5月13日	81歳
吉田		5月20日	94歳
吉田		5月25日	97歳
吉田		5月30日	91歳
吉田		5月31日	59歳
吉田		6月4日	96歳
吉田		6月7日	92歳
吉田		6月8日	74歳
吉田		6月9日	93歳
吉田		6月30日	93歳
吉田		6月30日	80歳
吉田		7月2日	91歳
【岩手地区】			
菅原	一生(岩手県学校生活協同組合)		
	2024年	8月13日	58歳
鳥海	昌美(岩手県学校生活協同組合)		
	2025年	1月22日	54歳
沼田		1月31日	71歳
岡山		2月8日	80歳
岡山		3月18日	82歳
岩井		3月22日	90歳
岩井		4月16日	93歳
藤澤		4月23日	63歳
藤澤		6月3日	94歳
長坂		6月3日	86歳
廣田		7月3日	95歳
高井		7月5日	96歳
高井		7月10日	84歳
【紫波地区】			
高橋	2025年	1月10日	84歳
富士		2月25日	86歳
川貞		3月1日	96歳
細越		3月10日	94歳
照井		3月19日	80歳
西村	(盛岡市立見前中学校)		
		3月20日	57歳
丸橋		3月30日	96歳
北田		4月19日	86歳
波岡		5月5日	102歳
金澤	(岩手県立紫波総合高等学校)		
		5月11日	54歳
		5月15日	81歳
		5月19日	100歳
		5月29日	84歳
		7月11日	92歳
【稗貫地区】			
高畑	2024年	3月29日	86歳
神谷		10月17日	93歳
神谷		10月29日	90歳

【稗貫地区】			
尾形	2025年	1月14日	83歳
重田		2月2日	87歳
田田		2月24日	99歳
田田		2月24日	78歳
沼倉		2月27日	86歳
愛高		3月17日	96歳
衣橋		3月18日	80歳
更着		4月14日	90歳
林中		5月19日	94歳
田重		5月31日	92歳
八重		6月4日	92歳
熊谷		6月19日	87歳
藤男		7月1日	100歳
伊藤		7月5日	94歳
膝高		7月17日	80歳
【和賀地区】			
及川	2025年	1月15日	84歳
菅博		1月25日	97歳
加藤		2月1日	95歳
藤美		2月8日	82歳
赤石		2月19日	100歳
高橋		2月21日	88歳
阿野		2月24日	87歳
菅野		2月25日	87歳
深澤		2月25日	87歳
佐藤		3月25日	89歳
雨海		3月30日	93歳
菅原		4月1日	93歳
佐藤		4月30日	91歳
近藤		5月19日	81歳
小松		6月3日	92歳
		6月25日	97歳
		7月23日	92歳
【胆沢地区】			
及川	2024年	5月31日	87歳
朝倉	2025年	2月15日	85歳
千高		2月20日	92歳
阿部		2月26日	95歳
藤部		3月4日	91歳
高橋		3月4日	89歳
藤子		3月7日	94歳
石川		3月10日	101歳
上原		4月6日	98歳
高橋		4月20日	89歳
上高		5月13日	87歳
菊地		5月17日	91歳
戸男		5月21日	82歳
鈴木		5月23日	91歳
小林		6月2日	92歳
鈴木		6月22日	87歳
阿部		6月27日	70歳
越田		7月8日	80歳
阿部		7月12日	91歳
鈴木		7月12日	83歳
安倍		7月20日	94歳
桑島		7月21日	72歳
【江刺地区】			
佐藤	2024年	10月20日	94歳
近藤	2025年	2月6日	82歳
木野		4月7日	103歳
菅野		4月10日	89歳
鈴木		5月7日	90歳
菊地		6月3日	88歳
【西磐井地区】			
舟生	2024年	12月30日	93歳
菅原	2025年	2月5日	97歳
豊村		3月12日	71歳
岩淵		3月22日	95歳
八重		4月21日	82歳
鈴木		5月11日	93歳
鈴木		5月18日	87歳
藤子		5月19日	88歳
鈴木		6月2日	89歳
佐藤		6月3日	92歳
田嶋		6月17日	82歳
及川		6月30日	92歳

【西磐井地区】			
熊谷	2025年	7月3日	91歳
鈴木		7月4日	105歳
【東磐井地区】			
白石	2024年	9月27日	96歳
佐藤		10月27日	91歳
北村	2025年	2月7日	84歳
北村		2月12日	90歳
北村		4月7日	86歳
四家		5月7日	89歳
小山		7月28日	89歳
【気仙地区】			
佐々	2025年	1月12日	79歳
村上		2月2日	97歳
及川		2月5日	99歳
及川		3月5日	78歳
岡本		3月26日	93歳
高橋		4月6日	98歳
鈴木		5月17日	92歳
鈴木		5月22日	77歳
青山		5月27日	94歳
刈谷		6月3日	88歳
東野		6月9日	95歳
		6月10日	95歳
		7月8日	95歳
【釜石地区】			
藤本	2025年	2月7日	72歳
大井		3月11日	93歳
近藤		4月17日	87歳
中村		5月30日	94歳
		6月30日	96歳
【遠野地区】			
菊池	2025年	1月16日	82歳
内田		2月2日	94歳
松本		3月2日	79歳
菊池		3月4日	90歳
和田		3月25日	100歳
大白		4月15日	73歳
		7月26日	98歳
【宮古地区】			
濱登	2024年	6月15日	96歳
中谷	2025年	2月8日	79歳
浦野		3月17日	94歳
村上		3月21日	56歳
		4月18日	94歳
佐藤		4月19日	92歳
工藤		4月21日	97歳
芳賀		4月25日	94歳
萬高		6月23日	94歳
【九戸地区】			
佐々	幸男(久慈市立宇部中学校)		
	2025年	1月31日	59歳
		6月20日	90歳
【二戸地区】			
佐藤	2025年	2月18日	93歳
小林		3月1日	91歳
安保		3月22日	78歳
宮野		5月17日	68歳
下又		6月11日	95歳
【東京地区】			
菅原	2024年	10月5日	95歳
泉知	2025年	2月13日	84歳
高橋		2月14日	97歳
本田		4月20日	94歳
佐々		5月28日	83歳
小松		7月6日	98歳
【仙台地区】			
金富	2025年	3月22日	90歳
小松		5月26日	96歳
嶽間		6月2日	95歳
【北海道札幌市】			
佐々	2025年	2月25日	90歳
【青森県八戸市】			
村木	2023年	11月13日	82歳
【愛知県名古屋】			
石崎	2025年	2月26日	93歳



満100歳!! おめでとう ございます。

第101号掲載以降、次の方々も100歳のお誕生日を迎えられましたので、ご紹介いたします。



船越 入工さん
(盛岡地区)

大正13年1月1日生
昭和57年3月
滝沢第二小学校退職

現在、ナーシングホーム悠ライフ盛岡にて生活しています。

歌の「春よこい」と「春がきた」の1番をそれぞれ3回、声を出して歌っています。「ベットから起きたい」と言う時は、車イスでスタッフルームまで行き、テレビを見たり周りの景色を楽しんでいます。食事車イスで食堂に行き、自分で食べています。

写真は今年の1月1日の誕生日に撮ったものです。ご家族の方から近況をいただきました。



田中 隆子さん
(和賀地区)

大正13年11月21日生
昭和60年3月
北上南小学校退職

多くの皆様方からのお支えを頂き、今が有ると感謝致しております。

昭和19年に教員になり、戦中、戦後を含め41年間多くの方々のご支援をいただき務める事が出来ました。

現在は、娘の介護を受けながら、少しずつリハビリを続け、食事も楽しく美味しくいただき、読書や編み物、たまに台所に立って料理をするなど、平穏で幸せな日々を過ごしております。

ご本人から直筆にて近況をいただきました。

岡谷 ミ工さん
(釜石地区)

大正13年12月2日生
昭和46年3月
中妻小学校退職

いつもお世話になっております。

退職後、夫の転勤で大分に移住した際に俳句との出会いがありました。特に印象深い自由律俳句は、「赤き衣の地蔵も我も花浄土」「百寿なる皆の恩恵年の暮」です。年を重ねると不自由な事がいっぱいありますが、これからもよろしく願っています……いつもありがとうございます。とご本人から直筆にてお手紙をいただきました。



松本 観さん
(和賀地区)

大正14年1月29日生
昭和60年3月
北上北中学校退職

この度、100歳の祝金をいただき有難うございます。

私の生涯は、大正14年から15年戦争の終りまでの20年と敗戦後復職40年と退職後40年の併せて100年になります。

復職の黒沢尻中で4回生が「みのりの秋集団演技」として運動会で鬼剣舞とさんさ踊りを始めたことや野球で県下優勝し県中部で運動文化交流を行ったことが思い出です。また、趣味の郷土調査では北上和賀の伝え、日高見の歩み、民話などを創作しました。ご本人から直筆でお知らせいただきました。



内田トミ工さん
(二戸地区)

大正14年2月14日生
昭和60年3月
野々上小学校退職

数年前より市内の施設にお世話になっております。

職員の方々には大変良くしてもらっております。車イスでの生活ですが、時々歩行器を使用して自分の足でしっかりと歩いています。

孫がお嫁さんをお願いの楽しみに、それまでは元気でいたいと話しております。ご家族の方から近況をいただきました。



小笠原尚介さん
(和賀地区)

大正14年4月28日生
昭和61年3月
上野中学校退職

昭和61年春、北上市立上野中学校初代校長で定年退職いたしました。

岩手日報の「声」に20年余り投稿、採用された50余りの記事を元に「百歳記念誌」を発刊し孫たちやお世話になった人たちに贈呈しました。

現在は、広い家敷の除草等整備に汗を流しております。

補聴器を愛用し、眼病で視力は低下しているものの内臓は丈夫で、いろいろな祝いの席にも元気に出席しております。

ご本人から直筆でお知らせいただきました。



荒川ソノ子さん
(胆沢地区)

大正14年6月9日生
昭和50年3月
姉体小学校退職

早期退職し、その後は「茶道教室」を開き92歳までお弟子さん方々と茶の道を楽しみました。

99歳まで自宅で過ごしておりましたが、現在は奥州市特別養護老人ホームにお世話になり施設の方々の手厚い介護を受け元気に過ごしております。

写真は施設で100歳の「誕生会」を開いていただいたときに撮っていただいたものです。

お元気なご様子を含め娘さんから近況をいただきました。

住所・電話番号を 変更の際は必ず ご連絡を!



退教互事務局へお届けいただいている住所に、現在住まわれない方や電話が繋がらない方が年々増えており、退教互からの送付書類やお問い合わせができず大変困っております。

住所・電話番号が変更になった際や施設等に入居された際には**必ず退教互事務局へご連絡**をお願いします。

あとがき

今年は戦後80年ということで、県内ではさまざまな取り組みが行われました。私は家族と共に原水禁広島大会に参加しました。子どもたちもそれぞれ何かを感じ取ったのではないかと思います。私自身も新たな気持ちで、これからの取り組みに臨んでいこうと思います。④